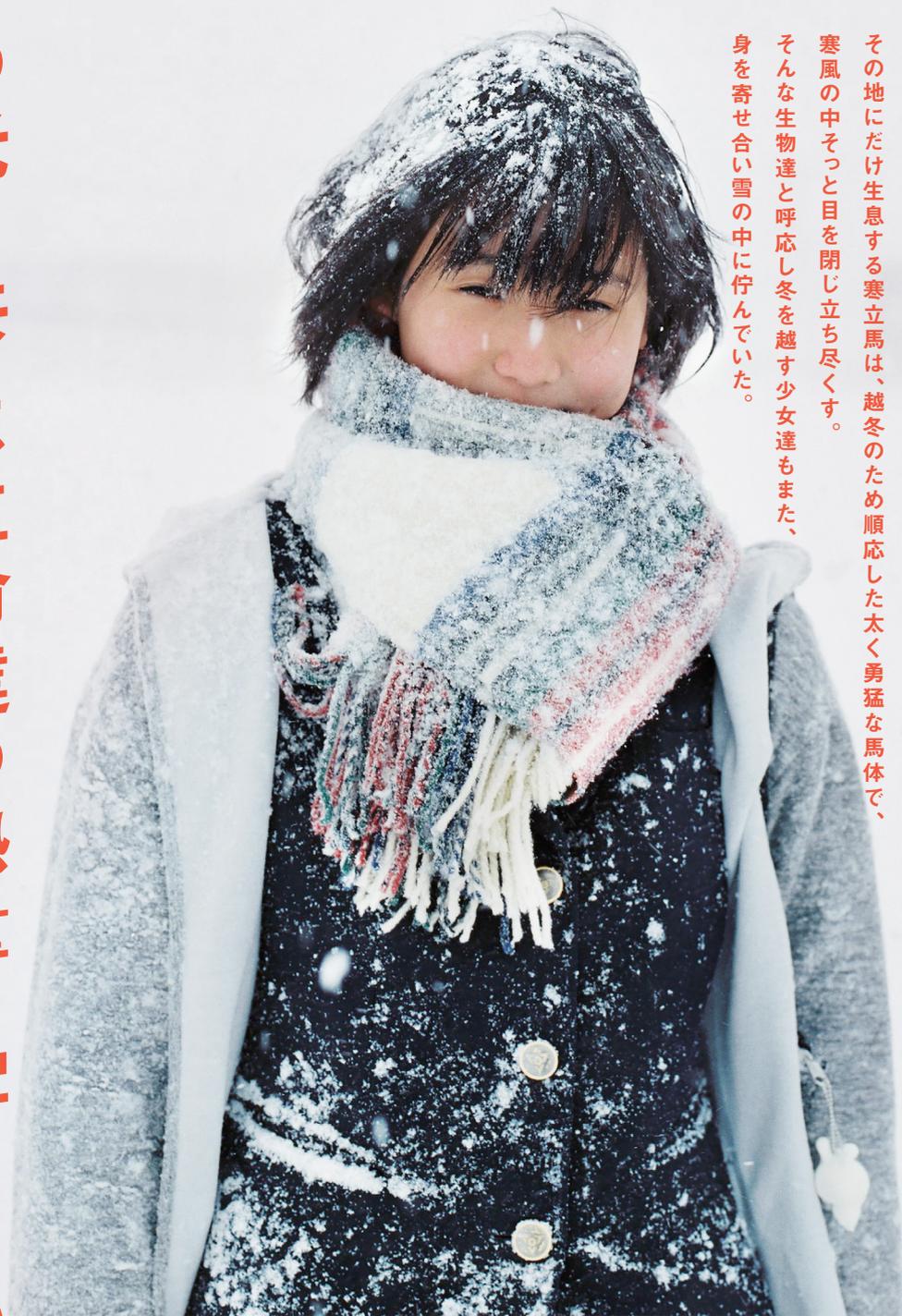


私はその光と共に、生命達の熱量を写していたのだ。



日本列島が記録的な寒波に襲われた厳冬期。

私はハッセルブラッドと共に、世界一の豪雪都市といわれる青森へと向かった。

津軽の地に吹き荒れる雪風の中、ピントを合わせる指先は痛く冷たかったが、

ファインダーの中では冬を越えてゆく彼らの体温や息づかいを感じていた。

ネガフィルムに焼きつく光は彼らから反射したエネルギーの分だけ熱を帯び、

シャッターを切るたびハッセルのボディが蒸気を上げたかのような音を鳴り響かせた。

すべてが白く消えゆく世界の中、生命だけが熱く際立っていたのだ。

植物達は己の弱き部分を枯死させ、細胞内の糖度を上げ冬を生き延びる。

その地にだけ生息する寒立馬は、越冬のため順応した太く勇猛な馬体で、

寒風の中そっと目を閉じ立ち尽くす。

そんな生物達と呼応し冬を越す少女達もまた、

身を寄せ合い雪の中に佇んでいた。

トーカ マヒロ写真展 2020

FROZEN LIGHT

3月7日[土] >>> 3月15日[日] 10:00-18:00

小牧市まなび創造館 市民ギャラリー

アーティストトーク 3月14日[土] 14:00-15:30

会場：愛知県小牧市小牧3-555(ラピオ4F) / 名鉄小牧駅より西へ徒歩5分 / 入場無料

主催：(一財)こまき市民文化財団 | 共催：小牧市・小牧市教育委員会



こまき市民文化財団

お問合せ：(一財)こまき市民文化財団 | 小牧市小牧2-107(市民会館内) | TEL 0568-71-9700 | FAX 0568-39-5671 | info@komaki-bunka.or.jp | http://www.komaki-bunka.or.jp

TOKA MAHIRO PHOTO EXHIBITION 2020

FROZEN LIGHT

PORTRAITS OF THE COLD WINTER IN AOMORI



年間降雪量650cm以上。世界一の豪雪都市といわれる青森。その街に降りそそぐ白い雪は、目に映る風景や物音すべてをととも静かに消し去ろうとしていた。それは何も特別なことではなく繰り返される美しき日常だった。

白銀の世界に佇む高校生から放たれる生命の弾むような輝き。生死をかけて冬を越えゆく動植物の静かで力強い姿。過酷な自然環境の中で共生する生命達が呼応する美しくも儂い写真からは、被写体の熱量さえも感じ取ることができます。本作の巡回展は東京～大阪と続き5回目。ギャラリーを訪れる鑑賞者には海外の方も多く、日本人と同じようにその作品群に心を動かされ言語や文化を越えて人々が共感する普遍的なテーマが写されています。

<アーティストプロフィール> トーカ マヒロ TOKA MAHIRO

東京を拠点にアートディレクターとして活動するかたわら、世界一の豪雪都市といわれる青森のランドスケープと高校生のポートレイトを並列に撮り下ろし、撮影・アートディレクション・デザイン・出版までの全パートを自身だけで完結させた処女作「FROZEN LIGHT」を発表。その美しくも儂い世界観が注目を集め各地で巡回展を行う。また、国内外でのアートブックフェアへの出展や、フランス/パリのアートギャラリーでの取り扱いなど海外からも高い評価を得ている。



トーカ マヒロ写真展 2020

FROZEN LIGHT

3月7日[土] >>> 3月15日[日]

10:00-18:00

入場無料

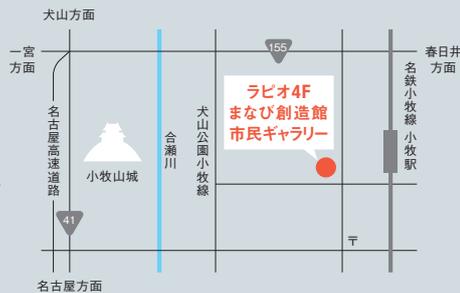
小牧市まなび創造館 市民ギャラリー

<アクセス>

名鉄小牧駅より西へ徒歩5分

お車で越越しの方は

ラビオ地下駐車場をご利用ください。



<アーティストトーク> 3月14日[土] 14:00-15:30

作家本人にご来場いただき、作品解説や撮影のストーリー、写真家・グラフィックデザイナー・アートディレクターとしての考え方など、幅広く貴重なお話を聞くことができます。参加ご希望の方は、当日14:00までに会場へお越しください。(事前予約は不要です。途中参加も可。)